

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
作業療法評価学		OSP11-003	必修	2	1	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
小川 麻里子		C315	m.ogawa		木曜日 10:30～12:30	
授業の目的・概要		対象者に作業療法を実施するためにはまず、対象者の心身の状態や置かれている状況を十分に把握して置く必要がある。そして、その把握された内容は作業療法目標や計画と十分に関連付けられていることが望ましい。本講義では、様々な検査・測定種目、評価スケールなどを紹介したうえで、「評価の必要性・意義」、「評価結果は何を意味するのか」、「評価を実施するうえでの留意点」などを理解し、2 年次以降の演習に向けた基礎的な知識や考え方を身につけることを目的とする。授業では反転授業を実施し、事前に配布プリントに要点をまとめてから授業で確認し、GW や演習を通じて作業療法評価で用いる検査・測定種目、評価スケールの治療的応用について検討する。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习)	☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☐ PBL ☒ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ その他（ ）		
学 習 上 の 助 言		授業内容に関する質問は、授業時間外では Teams 上でも受け付けている。疑問や不明な点は早期に解決し、授業の進み方に合わせて理解を深めてほしい。また、必要に応じ解剖学や生理学などの専門基礎科目の内容と照らし合わせながら理解を深めてほしい。				
教 科 書		標準作業療法専門分野 作業療法評価学第 4 版/編:能登真一、山口昇、玉垣努 他/医学書院/2017				
参 考 書		指定参考書なし				
外 部 教 材		特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	作業療法評価の目的と意義について説明できる。			RH(1)、(2)		
②	評価過程と評価項目について説明できる。			RH(1)、(2)		
③	記録と報告について説明できる。			RH(1)、(2)		
④	各種検査・評価法について説明できる。			RH(1)、(2)		
⑤	場面・状況に応じた各種検査・評価法を選択できる。			RH(1)、(2)、(3)		
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等			授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	評価学の基礎について学習する。			講義、演習	教科書 p.1～32 と提示資料のポイントを整理する。	1
2	面接・観察法について学習する。			講義、演習	教科書 p.33～49 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
3	意識の評価、バイタルサインの測定、臨床検査値の読み方について学習する。			講義、GW	教科書 p.50～61 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
4	形態計測について学習する。			講義、GW	教科書 p.62～68 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
5	関節可動域測定について学習する。			講義、GW	教科書 p.69～92 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
6	筋力検査について学習する。			講義、GW	教科書 p.93～110 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
7	感覚検査について学習する。			講義、GW	教科書 p.111～123 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
8	反射検査、姿勢反射検査・バランス機能検査について学習する。			講義、GW	教科書 p.133～153 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
9	筋緊張検査、協調性検査について学習する。			講義	教科書 p.124～132、154～161 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
10	脳神経検査について学習する。			講義	教科書 p.162～168 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
11	摂食・嚥下機能検査、排泄機能検査について学習する。			講義	教科書 p.169～187 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
12	上肢機能検査について学習する。			講義、GW	教科書 p.188～195 を読みながら配布プリントにまとめる。	1
13	日常生活活動の評価について学習する。			講義	教科書 p.196～221 を読みながら配布プリントにまとめる。	1

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

14	QOL・興味・役割の評価について学習する。		講義	教科書 p.222~233 を読みながら配布プリントにまとめる。		1	
15	対象者中心の評価について学習する。		講義、演習	教科書 p.234~245 を読みながら配布プリントにまとめる。		1	
試							
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		55	0	0	0	45	100
総合 力 指 標	知識・技術力	35	0	0	0	10	45
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	15	25
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・提示資料の内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。評価全体の55%とする。			答案用紙を個別に開示し、解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各回、課題プリントを完成させ Teams にて提出する。評価全体の45%とする。			添削・評価の後、返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		なし					
教員の実務経験		本科目の担当教員は10年以上の臨床経験を有する。					
実践的授業の内容		臨床で得た知見に基づき、作業療法評価の基本的事項について教授する。					
そ の 他		大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は授業への参加を認めません。 Teamsを使った課題ダウンロードなどがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性があります。					